特産物を活かす
文化・風土を活かす

海外との交流

メディアの視察旅行を実施 篠山エリアの魅力をアピ・

兵庫県・篠山エリア

地域に残された古民家を再生 魅力的な町づくりで注目度アップを狙う

明治前期に建てられた元銀行経営者の住宅を リノベーション。景観重要建築物にも指定されている建物は、重厚感と心地よさが共存。

訪日客を呼ぶヒント●

歴史的建造物で 伝統と文化を伝える

アクセス至便でもないこの地に、 わざわざ足を運ぼうと考える人 は、国内外を問わず、歴史・文化に 感度が高い人たち。そのため、アッ クラスの訪日外国人客をメイ ンターゲットとし、この地域に 眠っている建築文化や食文化を磨 いていく。



江戸時代建造の古民家を再生 ホテルや店舗にして人を呼ぶ

古民家などの歴史的建造物を、 NIPPONIAとは、地域に残された 宿泊棟やレス

町ホテルNIPPONIA」です。

内からでも車で9分ほどの兵庫県篠山市。そ

神戸市内から車で約60分、

京都市

ではなく、町全体をホテル化する構想が生ま の一角に、1施設内でサービスを完結するの

動き始めました。

篠山城跡のある篠山市

西町で進められている「篠山城下

それをネットワークする活動を全国に広げて 集落などの歴史地区をそのままホテルにし、 その土地に根ざした歴史・文化を未来に向け て紡いでいくプロジェクトの名称。城下町や

5つの宿泊棟が点在しています。 す」と、バリューマネジメントの池上順 ように過ごしていただきたいと考えておりま がひとつのホテルで、滞在の間は町に住まう シップホテルで、篠山城跡を取り囲むように テル NIPPONIA』は、 んは説明します。 「なかでも私どもが運営する『篠山城下町 そのフラッグ 城下町全体

らに5物件9室が追加オープンする予定です は1室増えて5物件12室、2018年にはさ が4物件11室でホテルの運営をスタート。現在 の事業者を誘致してきました。 生し、20軒の店舗を開業。IターンやUターン 2009年から一般社団法人ノオトが順次再 2015年11月には、バリューマネジメント 篠山城下町で空き家となった古民家を

海外の旅行代理店を招聘 欧米の観光客の受け入れを意識

け入れを得意とする旅行代理店を招聘。 すが、年々伸びている現在、 け入れも大きなテーマとなっています。 2017年2月には、欧米からの観光客受 篠山城下町ホテルの稼働率はおよそ50%で 訪日観光客の受

トラン、工房などとして面的に再生・活用し、

陶芸体験教室も行っている工房で、ファム トリップ参加者も陶芸体験。観光だけでなく 体験の楽しさも味わってもらう。

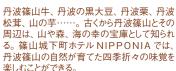


訪日客を呼ぶヒント❷

体験してもらうことで 魅力&情報の拡散を

欧米の観光客の受け入れを得意としている旅行代理店を招聘し、実際に篠山エリアを体験してもらうファムトリップ(訪日旅行責任者等が対象の視察ツアー)を実施。欧米人目線で感じた篠山城下町ホテル NIPPONIA の魅力を拡散してもらい、メインターゲットとなり得る外国人客を篠山エリアに誘導するきっかけづくりをスタートさせた。また、今回の体験を多くの人に語ってもらうことで、口コミ効果も狙っている。













古民家の昔ながらの趣を残しつつ、居心地良くリノベーションされた レストラン。この地で育まれた地元の味を堪能したい。

デンルートから地方にシフトしているなかで、

訪日外国人旅行者の関心が、

徐々にゴー

篠山の魅力を感じてもらいました。市野雅彦さんの工房での陶芸体験を

今後は篠山エリアへの注目度も増していくこ

の滞在体験、

城下町散策はもちろん、蕎麦と

NIPPONIAと集落丸山

城下町ホテル

旬の料理の

満足度→口コミによる集客のグッドサイ

が生み出されつつあります。

がっており、

インバウンド来店→高い顧客

ディアに取り上げられ、

海外での認知も上

とが予想さます。実際、グループホテルの

城下町ホテル EN」 は、

すでに海外メ

町のファンを増やし、 することで、 います」(池上さん) の関心を、さらに喚起していきたいと考えて 外を問わず、 値を磨き上げ、 業を創出することが、 る姿に蘇らせ、 的は、単に古民家を活用してホテルを運営す るというものではありません。 「この地に眠っていた建築文化や食文化の 雇用や消費を生み出 篠山城下町ホテル NIPPONIA の目 古民家をもともとあった魅力あ 歴史・文化に感度が高い人たち 新たに表現することで、 宿泊顧客に町の魅力を伝え、 最終ゴールとなります。 町に人を呼び戻し、 内発型の新しい産 ホテルを運営 町